

# 中国山地地域づくりは

## 「百年会議」魅力や今後会員ら議論



中国山地をテーマに年

刊誌を発行する有志の  
会「みんなで作る中国  
山地百年会議」の活動報  
告会が5日、広島市中区  
の広島県立叡啓大であ  
った。昨年10月の最新号  
を執筆した会員たちが今  
後の地域づくりなどを議  
論し、約30人が聞き入っ

中国山地の魅力や将来像を  
語り合った活動報告会

た。

パネル討論には4人が  
登壇。福山市の団体職員  
中尾圭さんは、人が少な  
く空き家が多い中国山地  
には「プレーヤーとして  
活躍できる『余白』があ  
る」と指摘した。島根県立  
大准教授の田中輝美さん  
は、山積する課題への向  
き合い方を「自分の出番  
が多いと考えたい。迷っ  
たら半歩踏み出せば、中

国山地はもつと面白くな  
る」と強調した。

同会議の藤山浩会長は  
基調講演で、中国山地は  
エネルギーや食料の自給  
自足の可能な循環型社会  
を目指せると説いた。今  
回で5冊目の最新号まで  
の執筆者が約60人になる

など態勢が充実してきた  
ことも報告した。

叡啓大3年藤本康平さ  
ん(20)は「中国山地は人  
のつながりが強く、若者  
も活躍しやすい。積極的  
に交流すればやりたいこ  
とができそう」と話して  
いた。  
(余村泰樹)